



くたのがわぼし やまかげがわぼし  
久田野川橋・山陰川橋



本工事は愛知県豊川市の北西部に位置し、新東名高速道路の橋梁2橋 久田野川橋（上下線各 292m）と山陰川橋（上り線 202m、下り線 252m）の上部工を施工する工事です。新東名は静岡県内の区間が先行開通し、愛知県内で延伸工事が急ピッチで進捗していますが、本工事はその区間の最後のPC上部工工事となります。

橋梁型式は波形鋼板ウエブ箱桁橋で、張出し架設工法により架設していますが、2橋のうち久田野川橋については、当社の特化技術である Rap-Con/RW 工法を採用し、急速施工に取り組んでいます。

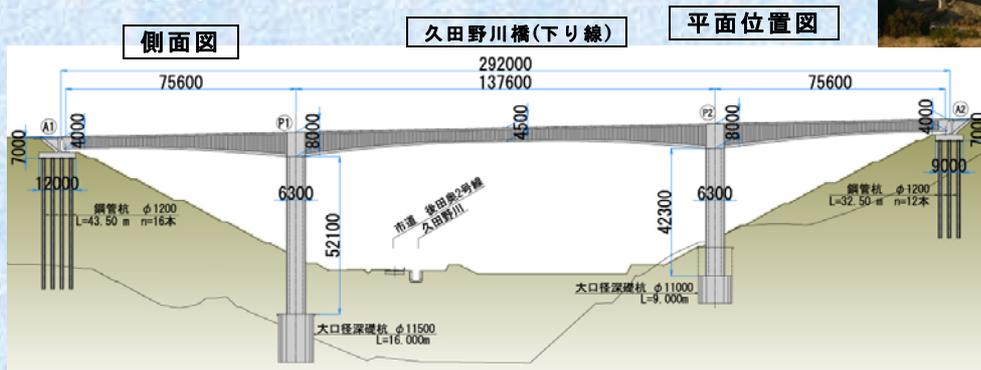
2橋とも下部工工事と同時施工であり、下部工が完成した部分から順次上部工に取りかかりました。



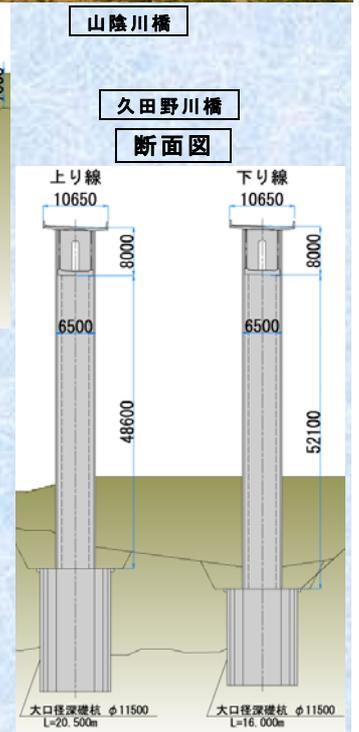
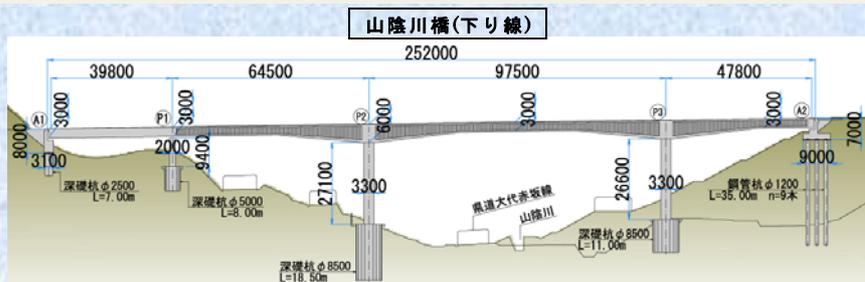
久田野川橋



◆一般図



山陰川橋



◆橋梁諸元

工事名：新東名高速道路久田野川橋他1橋（PC上部工）工事  
 発注者：中日本高速道路株式会社 設計者：三井住友建設(株)  
 位置：愛知県豊川市萩町 道路規格：第1種第2級B規格  
 形式：久田野川橋：PC3径間連続ラーメン波形鋼板ウエブ箱桁橋  
 山陰川橋：PC3径間連続ラーメン波形鋼板ウエブ箱桁橋  
 PC4径間連続ラーメン波形鋼板ウエブ箱桁橋  
 +コンクリートウエブ箱桁橋 荷重：B活荷重  
 橋長：久田野川橋：292.0m(75.6+137.6+75.6)  
 山陰川橋：202.0m(45.8+96.0+57.8)、252.0m(39.8+64.5+97.5+47.8)  
 総幅員：2@10.65m(有効幅員 2@9.76m) 架設工法：張出し架設工法  
 PC鋼材：主方向：SWPR7BL 12S15.2（ディビダーク工法、内ケーブル）  
 SWPR7BL 19S15.2、19S15.7（ディビダーク工法、外ケーブル）  
 横締め：SWPR19L 1S21.8（SM工法、プレグラウトタイプ）

断面詳細図

